



野底小学校だより
令和7年 10月

野小っ子



〔連絡先〕
住所：石垣市字野底138番地
TEL：0980-89-2144
FAX：0980-89-2079
Email:nosoko-s@ishigaki.ed.jp



運動会大成功!～笑顔いっぱい・拍手いっぱい～

9月28日(日)今年も無事に運動会を開催することができました。ご多忙の中、多くの保護者の皆さん、地域の皆さんにご来校いただき、温かいご声援と多大なご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

子供たちは、この日のために「28人 のそっ子の仲間で団結!勝利への意思を持ちみんなを信じてがんばろう」のスローガンのもと、練習に励んでいました。走る姿、力強い踊り、そして、仲間と力を合わせる協働の体験を通して、子供たちは身体的な成長だけでなく、精神面においても大きく成長したと確信しています。

運動会は、単なるスポーツイベントではありません。子供たちが「努力」「協力」「挑戦」「応援」の意味を、五感を通して深く学ぶ貴重な教育の場だと考えています。勝敗を超え、一人一人が示したひたむきな「がんばり」に、私たち教職員は何度も心を打たれました。特に、「最後まで決してあきらめない姿」は、ご参加くださった皆様の心にも深く刻まれたことと思います。

日頃から、「うまくいかないことこそ、成長のチャンスである」と子供たちに伝えています。失敗を恐れず、創意工夫を重ねて挑戦し、「試行錯誤」を繰り返すこと。その一つ一つの積み重ねが、やがて自らの可能性を広げ、記録を塗り替える力となります。運動会は、まさにその力が躍動する舞台となりました。結果よりも、そこに至るまでの懸命なプロセスこそが、子供たちの揺るぎない成長の証だと考えています。

また、ご来場くださった皆様の温かい拍手と眼差しが、子供たちの大きな力となりました。「自分たちの頑張りを見守ってくれている人がいる」という安心感と誇りが、子供たちの背中を力強く押し出してくれたことでしょう。野底小学校に集う全ての皆様の笑顔と、拍手・声援に包まれた今回の運動会は、まさに「みんなで作った成功」です。運動会当日だけでなく、PTAや公民館の方々、中学生による前日の会場設営や景品準備等、多岐にわたるご支援を賜りました全ての方々に、重ねて感謝申し上げます。

今後も、子供たちが日々の生活や学びの中で、自分らしさを発揮して輝けるよう、学校全体で教育活動の充実に尽力してまいります。引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

景品のご提供、当日の心温まる差し入れやお志に対し、改めて感謝申し上げます。



10月の行事

8日(水) 校長講話
委員会

13日(月) スポーツの日

14日(火) 読み聞かせ
教育相談(～17日)

15日(水) 読書月間(～11/12)
読書オープニング集会

21日(火) 校内研究: 研究授業1・2年生
1・2年生以外、4校時授業
※水曜日の時間割

22日(水) ※火曜日の時間割

29日(水) クラブ

31日(金) 第2回集合学習



10月生活目標

○丈夫な体をつくろう

健康で、丈夫な体をつくるためには**栄養バランス**のよい**食事・十分な睡眠・適度な運動**を心がけることが大切です。毎日の基本的な生活が、体の抵抗力を高め、風邪などの病気を予防する第一歩になります。規則正しい生活ができているか振り返って改善してみましょう。



【第71回野底小学校・のそこ幼稚園運動会】

「28人 のそこの仲間と団結！勝利への意思を持ちみんなを信じてがんばろう」のスローガンの28人は、小学生24名と園児4名を合わせた数です。幼稚園が今年度で閉園するということで、子供たちが4名の園児も含めた「のそこ」みんなでがんばりたいという思いが込められています。



一人一人が、ゴールを目指して一生懸命に走る！



のそこみんなで話し合い、走順を決定。仲間を信じてバトンをつなぐ。みんな真剣な眼差し！



野小っ子伝統エイサーでは、校訓の「豊かな心」を付した旗頭の入場から始まり、6年生が保護者の支援を受けながら旗頭を持ちました。太鼓の音色や動作をそろえ「みんなで心をつなげる」ことの大切さを学びました。



白組、赤組共に仲間と力を合わせ、最後まで「あきらめない」姿勢と仲間を信じて挑む姿勢は、勝敗を超えて大きな感動を与えてくれました。



園児による表現では、小さな体で一生懸命に踊る姿がとても愛らしく、見守る方々の心を和ませてくれました。大きな声で「がんばれ！」と応援する小学生の姿も、野底ならではの温かさを感じる場面でした。

保護者、地域の方々みんなが参加し運動会を盛り上げ、笑顔いっぱいの運動会になりました。

【ウミショウブとウミガメの共存について考える】

9月3日（水）の授業参観の際に、5・6年生が国立研究開発法人水産技術研究所の奥山隼一氏から「ウミガメの生態」について学びました。

現在、ウミショウブを主食とするアオウミガメからウミショウブを守るために柵を設置し、その生息地の回復とウミショウブの成長を子供たちは実際に自分たちの目で確認し喜んでます。（複数の種類の魚も確認し興味は広がります。）

今回の授業は、「共存」について「新たな保全策」を考える機会にと設定しています。「海の力カシ作戦」と題し、講師の奥山氏にアオウミガメが嫌がるものを質問しながらウミショウブを守る方法を話し合いました。点滴のサメの模型や光を嫌がる習性からCDの設置をしてみてもどうかと意見が出ました。

今後、これらの学習を通して自然の繋がりやバランスを理解することやさらに、自分たちの行動が環境にどう影響するかを考え、身近なことからできることを見つけ出せたらと思います。

